

令和2年度政務活動報告書(会派用)

会派名 市民と未来のために

代表者名 伊藤 優太



政務活動テーマ	活動内容
<p>市政の広報広聴</p>	<p>会派としての市政での活動等を広く市民へ伝えるためデザイン、校正等について工夫し、市政報告を配布、折り込みの手法を用いて、広報広聴を行った。今年度ははがきタイプを活用した広聴も行った。配付等された市政報告をきっかけにし、市政に関心が持てたとの市民からの声もあった。広報広聴の結果、新型コロナウイルス対策等について市民からの意見を議会活動へ反映させた。コロナ禍もあり対面でのコミュニケーションの制限がある中で、市政報告を通じての広報広聴の意義を再確認にする場面が多くあった。</p>
<p>政策シンクタンクの活用による議会活動の質の向上</p>	<p>民間政策シンクタンクの知見を、仙台市音楽ホール構想に関連する質疑や新型コロナウイルス感染症に対応した経済対策(第6弾)に係る令和2年度一般会計補正予算に対する修正議案での一連の議会活動に活用した。一人会派で、質問時間が限られている状況にあり、その中で質問時間を有効かつ意義あるものにする為にも、シンクタンクとのミーティングやアドバイザー等が重要なものとなった。令和2年第4回定例会一般質問での仙台市音楽ホール構想の需要予測に関連する質問や、令和3年第1回定例会予算等審査特別委員会での修正議案の提案においては、広報広聴で得た市民の声と議員の政策的考え、政策シンクタンクの知見を総合的に活かし財政上の対応可否等の充実した提案を行うことが出来た。</p>
<p>東北大学公共政策大学院での研究</p>	<p>東北大学公共政策大学院において、政策を客観的に分析・評価する基礎を養成しその上に新しい政策形成と効果的な執行を可能にする専門能力を習得することに努めた。</p>

※ この報告書は収支報告書に添付してください。